

大東市の部落差別（同和問題）に関する市民意識調査調査票調査項目(案)

部落差別(同和問題)

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問1	慣習や差別に対する認識	次の各設問についてあなたはどのようにお考えですか。(あてはまる番号1つに○)		
問1-1		今の時代でも家柄や家の格については大事にすべきだ	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問1-2		「友引」の日に葬式をしないほうがよい	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問1-3		物事を決める際、占いや方角は参考になる	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問1-4		葬式や通夜では「清め塩」を用意すべきだ	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	
問1-5		女性であるという理由で昇給や昇進に差がつくことは差別である	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋)
問1-6		結婚の際、相手の身元調査をしたほうがよい	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋)
問1-7		女性は結婚したら、夫の姓を名乗る方がよい	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというと思わない 5. そう思わない	

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問1-8		日本に住む外国人は日本の文化を理解し日本の生活習慣に応じた生活をすべきだ	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらともいえない 4. どちらかというとそう思わない 5. そう思わない	
		部落差別(同和問題)とは	部落差別(同和問題)は、日本社会の歴史的過程で形作られた身分差別により、日本国民の一部の人々が、長い間、経済的、社会的、文化的に低い状態に置かれることを強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に結婚を反対されたり、就職などの日常生活の上で差別を受けたりするなどしている、我が国固有の人権問題です。	法務省ホームページより
問2	部落差別についての認識	あなたは部落差別(同和問題)がどういふものか知っていますか。(あてはまる番号1つに○)	1. 知っている→問3からすべてご回答ください 2. なんとなく知っている→問3からすべてご回答ください 3. 知らない→問19から問21にすべてご回答ください	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問3	部落差別を知るきっかけ	あなたが部落差別(同和問題)について初めて知ったのはいつ頃のことですか。(あてはまる番号1つに○)	1. 6歳未満(小学校に入学する前) 2. 6歳~12歳未満(小学生の頃) 3. 12歳~15歳未満(中学生の頃) 4. 15歳~19歳未満 5. 19歳以降 6. 覚えていない	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋市)
問4	部落差別を知るきっかけ	あなたが部落差別(同和問題)について誰からもしくは何から知りましたか最も記憶に残っているものをひとつ選んでください。(あてはまる番号1つに○)	1. 家族 2. 親戚 3. 近所の人 4. 職場の人 5. 友人 6. 学校の授業 7. 職場の研修 8. 講演会や研修会 9. 市の広報(広報誌、リーフレット、ホームページ、ポスターなど) 10. テレビ、ラジオ、新聞、書籍等 11. インターネット(SNSやブログ等含む) 12. その他	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問5	部落差別との出会い	あなたが部落差別(同和問題)を初めて知ったときどう思いましたか(あてはまる番号1つに○)	1. 差別があることが許せないと思った 2. なぜ差別が存在するのか不思議に思った 3. ということなのかよくわからなかった 4. 同和地区の人をかわいそうだと思った 5. 自分は同和地区に生まれなくてよかったと思った 6. なんとなく自分とは違う人達だと思った 7. 自分には関係ないことだと思った 8. その他() 9. 覚えていない 10. 特に何も思わなかった	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋市)

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)																												
問6	部落差別に対する認識(現在)	あなたは現在の部落差別(同和問題)の状況についてどう思いますか。(あてはまる番号1つに○)	1. 差別は以前と変わらず存在していると思う 2. 差別は増えていると思う 3. 差別は減っていると思う 4. 差別はもう無いと思う 5. わからない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)																												
問7	部落差別に対する認識(現在)	あなたは、部落差別(同和問題)についてどう思いますか(あてはまる番号1つに○)	1. 人間の自由や平等にかかわる問題なので、自分も市民の一人としてこの問題の解決に協力すべきだと思う 2. 差別される立場の人の問題であるから、自分には関係ないと思う。 3. あまり騒がずにそっとしておくのがよいと思う 4. 特に関心がない 5. 部落差別は現在はない 5. その他() 6. わからない	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋市)																												
問8	同和地区に対するイメージ(全体像)	あなたが、「同和地区」と聞いたときのイメージはどのようなものですか。あなたが感じているイメージに近い番号を選んでください。(○は各行それぞれ1つ)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>非常にAに近い</th> <th>ややAに近い</th> <th>どちらともいえない</th> <th>ややBに近い</th> <th>非常にBに近い</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>やさしい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>こわい</td> </tr> <tr> <td>明るい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>暗い</td> </tr> <tr> <td>開放的</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>閉鎖的</td> </tr> </tbody> </table>	A	非常にAに近い	ややAに近い	どちらともいえない	ややBに近い	非常にBに近い	B	やさしい	1	2	3	4	5	こわい	明るい	1	2	3	4	5	暗い	開放的	1	2	3	4	5	閉鎖的	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
A	非常にAに近い	ややAに近い	どちらともいえない	ややBに近い	非常にBに近い	B																										
やさしい	1	2	3	4	5	こわい																										
明るい	1	2	3	4	5	暗い																										
開放的	1	2	3	4	5	閉鎖的																										
問9	同和地区に対するイメージ(住居)	新たな住まいを選ぶ際、価格や交通の便など希望条件にあった物件が同和地区にあった場合、あなたはどうしますか。(あてはまる番号1つに○)	1. 避けると思う→問9-1へ 2. どちらかといえば避けると思う→問9-1へ 3. どちらかといえば避けないと 4. 避けないと	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)																												
問9-1	同和地区に対するイメージ(住居)	問9で「1 避けると思う」「2 どちらかといえば避けると思う」と答えた人にお聞きします。あなたはなぜそのように思うのですか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 同和地区に住むことで、自分や家族が差別されるかもしれないから 2. 同和地区の人とは付き合いたくないから 3. 同和地区は治安が悪いから 4. 学力の問題などで子どもの教育上よくないと思うから 5. 何かのトラブルに巻き込まれたくないから 6. 同和地区の物件は価格上昇が見込めないから(転売が難しいと思うから) 7. 同和地区には住まないほうが良いと聞いたことがあるから 8. その他(具体的に)	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)																												

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問10	同和地区に対するイメージ(結婚、他人)	あなたの親類が結婚しようとする相手が同和地区出身であることから家族から反対されているとします。そのことについてどうしたらよいかと相談された時、あなたはどのようにしますか。(あてはまる番号1つに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の意志を貫いて結婚すればよいと言う 2. 反対する家族を説得するなど、力になると言う 3. 結婚は慎重に考えたほうがよいと言う→問10-1へ 4. 結婚はしないほうがよいと言う→問10-1へ 5. どういえばいいのかわからない 6. その他(具体的に) 	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問10-1	同和地区に対するイメージ(結婚、他人)	問10で「3 結婚は慎重に考えたほうがよいと言う」、「4 結婚はしないほうがよいと言う」と回答された方にお聞きします。それはなぜですか。(あてはまる番号すべてに○)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族が反対しているなら、それに従うべきだから 2. 同和地区の人と親戚になりたくないから 3. 将来、本人やその子どもが差別を受けるかもしれないから 4. 自分や自分の家族が差別されるかもしれないから 5. その他(具体的に) 	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)

問番号	項目	設問	選択肢						備考(引用もしくは参考)
問11	同和問題(意見や考え方)	あなたは、部落差別(同和問題)に関する次のような意見や考え方について、どう思いますか。あなたの意見に最も近いものを選んでください。(○はそれぞれひとつ)		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
				1	2	3	4	5	
			自然となくなるから教育や啓発はしないほうがよい	1	2	3	4	5	
			結婚に際して、相手の出身地が同和地区かどうかを調べても問題はない	1	2	3	4	5	
			差別される人の気持ちを聞くことが大事だ	1	2	3	4	5	
			学校で正しく教育を行うべきだ	1	2	3	4	5	
			差別の原因は差別される側にもある	1	2	3	4	5	
			宅地の購入や引っ越しに際して、その場所が同和地区であるかを調べても問題はない	1	2	3	4	5	
			同和地区の人は生活の様々な面で優遇されている	1	2	3	4	5	
			行政等が部落差別(同和問題)に取り組むことが、かえって問題の解決を難しくしている	1	2	3	4	5	
			差別されたくないなら同和地区外に引っ越せばよい	1	2	3	4	5	
			マスコミはもっと部落差別(同和問題)について取り上げるべきだ	1	2	3	4	5	
			面倒なことになってはいけいないので、部落差別(同和問題)を話題にしないほうがよい	1	2	3	4	5	
			部落差別(同和問題)は他の人権問題に比べて、わかりにくい	1	2	3	4	5	

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問12	部落差別を見聞きした直接的経験	あなたはこの5年間くらいの間に部落差別(同和問題)に関して次のような発言を直接聞いたことがありますか。(○はいくつでも) ※SNSやブログ等を含むインターネット上の書き込みは除いてください。	1. 住宅を購入したり引っ越ししたりする際は、同和地区内の物件を避けた方がよい 2. 同和地区の人は、優遇されている 3. 同和地区の人とは結婚してはいけない 4. 同和地区の人はこわい 5. 同和地区は治安が悪い 6. 同和地区の人とは、関わらないほうがよい 7. 同和地区の人は無理難題を言う 8. 聞いたことがない→問13へ	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問12-1	部落差別を見聞きした直接的経験(印象)	問12で「1」～「7」と答えた人にお聞きします。 問12で1つだけ○をされた方は問13で選んだものと同じものを選んでください。 問12でいくつか○をされた方は最も印象に残っているものを選んでください。(あてはまる番号1つに○)	1. 住宅を購入したり引っ越ししたりする際は、同和地区内の物件を避けた方がよい 2. 同和地区の人は、優遇されている 3. 同和地区の人とは結婚してはいけない 4. 同和地区の人はこわい 5. 同和地区は治安が悪い 6. 同和地区の人とは、関わらないほうがよい 7. 同和地区の人は無理難題を言う	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問12-2	部落差別を見聞きした直接的経験(発端)	問12-1で○をされた内容についてお聞きします。 それは誰から聞きましたか。(あてはまる番号1つに○)	1. 家族 2. 親戚 3. 近所の人 4. 職場の人 5. 友人 6. 知らない人 7. 覚えていない 8. その他(具体的に)	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問12-3	部落差別を見聞きした直接的経験(印象)	問12-1で○をされた内容についてお聞きします。 それを聞いたときどう感じましたか。(あてはまる番号1つに○)	1. 反発・疑問を感じた→問12-4へ 2. そのとおりだと思った 3. そういう考え方もあるのかと思った。 4. 特に何も思わなかった	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問12-4	部落差別を見聞きした直接的経験(行動)	問12-3で「1 反発・疑問を感じた」と回答された方についてお聞きします。 反発・疑問を感じてどうされましたか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 相手にその気持ちを伝えた 2. 家族・親類に相談した 3. 友人・知人に相談した 4. 市町村や府など行政の相談窓口で相談した 5. その他(具体的に) 6. 特に何もしなかった	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問13	部落差別を見聞きした間 接的経験(インターネット)	あなたはこの5年間くらいの間にSNSやブログ等 を含むインターネット上で次のような内容を見たこ とがありますか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 同和地区や同和地区出身者に対する偏見や差別を拡げる書き込み 2. 同和地区出身者の名前や住所等を明らかにする書き込み 3. 同和地区の地名や所在地の書き込み 4. 同和地区を撮影した動画や写真 5. 見たことがない→問14へ	令和4年度同和問題(部落差別) に関する県民意識調査(和歌山 県)
問13-1	部落差別を見聞きした間 接的経験(インターネット)	問13で「1」～「4」に○をされた方にお聞きしま す。 それ(それら)を見たきっかけはなんですか。(あ てはまる番号すべてに○)	1. 学校や職場で部落差別(同和問題)について習ったので、部落差別(同和問題)について調べてい た 2. 部落差別(同和問題)について理解を深めようと、部落差別(同和問題)について調べていた 3. 同和地区がどこにあるのか、調べていた 4. 同和地区がどんなところか知りたくて調べていた 5. ある人物について、その人が同和地区出身者かどうか、調べていた 6. 知り合い等から、その投稿を見るように勧められた 7. 部落差別(同和問題)と関係のないSNSやWEBサイトを閲覧しているうちに、たどりついた 8. その他(具体的に:)	令和4年度同和問題(部落差別) に関する県民意識調査(和歌山 県)
問13-2	部落差別を見聞きした間 接的経験(インターネット)	それ(それら)を見てどう思いましたか(あてはま る番号すべてに○)	1. 人権の観点から問題があると思った(人権侵害にあたると思った) 2. 部落差別(同和問題)には関わりたくないと思った 3. ほしい情報が得られた 4. 興味がわいて、他の書き込みや動画なども見てみたいと思った 5. その他(具体的に) 6. 何も思わなかった	令和4年度同和問題(部落差別) に関する県民意識調査(和歌山 県)
問14	部落差別(同和問題)教 育・学習について(学生時 代)	あなたは小学校から高校までのあいだに部落差 別(同和教育)に関する教育を受けたことがあり ますか(あてはまる番号1つに○)	1. 小学校で受けたことがある→問14-1へ 2. 中学校で受けたことがある→問14-1へ 3. 高校で受けたことがある→問14-1へ 4. 覚えていない	令和4年度同和問題(部落差別) に関する県民意識調査(和歌山 県)
問14-1	部落差別(同和問題)教 育・学習について(学生時 代)	問14で「1～3 ○○で受けたことがある」と答え た人にお聞きします。 部落差別(同和問題)に関する教育を受けて理解 できましたか(あてはまる番号すべてに○)	1. よく理解できた 2. 少し理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった 5. その他(具体的に)	令和4年度同和問題(部落差別) に関する県民意識調査(和歌山 県)

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問15	部落差別(同和問題)教育・学習について(社会人)	あなたはこれまでに部落差別(同和問題)に関する講演会や研修会に参加したり、職場で研修を受けたことがありますか。(あてはまる番号1つに○)	1. 行政や地域が主催の講演会や研修会に参加したことがある 2. 職場で研修を受けたことがある 3. 上記のどちらもない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問15-1	部落差別(同和問題)教育・学習について(社会人)	問15で「1 行政や地域が主催の講演会や研修会に参加したことがある」、「2 職場で研修を受けたことがある」と答えた人にお聞きします。部落差別(同和問題)に関する講演会や研修会に参加したり、職場で研修を受けて理解できましたか(あてはまる番号すべてに○)	1. よく理解できた 2. 少し理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった 5. その他(具体的に)	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)
問16	部落差別(同和問題)の啓発について	大東市で部落差別(同和問題)に関する研修会や講演会が開催されたらあなたは参加したいですか。(あてはまる番号1つに○)	1. 参加したい→問16-1をご回答ください 2. 参加したくない→問16-2にご回答ください	
問16-1	部落差別(同和問題)の啓発について	問16で「1 参加したい」と答えた人にお聞きします。部落差別(同和問題)のどのようなことを知りたいですか(あてはまる番号すべてに○)	1. 部落差別(同和問題)の歴史 2. 部落差別(同和問題)の現状・実態、解決に向けた取り組み 3. 同和地区出身者による体験談 4. えせ同和行為について 5. なぜ、部落差別はなくなるのか 6. その他(具体的に)	
問16-2	部落差別(同和問題)の啓発について	問16で「2 参加したくない」と答えた人にお聞きします。あなたはなぜそう思いましたか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 部落差別(同和問題)について見聞きしたことがないから 2. 部落差別(同和問題)について知らなくても自分の生活に支障がないから 3. 興味が無いから 4. 部落差別(同和問題)は難しいから 5. その他(具体的に)	

問番号	項目	設問	選択肢	備考(引用もしくは参考)
問17	部落差別解消推進法について	平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。この法律では現在も部落差別は存在し、部落差別が許されないものであると明記されています。あなたはこの法律について知っていますか。	1. 知っている 2. 名前は聞いたことがあるが、内容までは知らない 3. 知らない	令和2年度同和問題(部落差別)に関する市民意識調査(名古屋市)
問18	相談窓口	部落差別を受けた人が相談する窓口としてあなたが知っているものはどれですか(あてはまる番号すべてに○)	1. 法務局または人権擁護委員 2. 大阪府庁 3. 大東市役所 4. 人権文化センター(総合相談・支援窓口) 5. その他(具体的に) 6. 知らない	令和4年度同和問題(部落差別)に関する県民意識調査(和歌山県)

回答者自身について

問番号	項目	設問	選択肢	備考
問19	回答者自身について	あなたの性別は。(あてはまる番号1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. いずれでもない	
問20	回答者自身について	あなたの年齢は。(令和5年●月●日現在の満年齢でお答えください。)(あてはまる番号1つに○)	1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上	
問21	回答者自身について	あなたがお住まいの場所を教えてください。(あてはまる番号1つに○) ※50音順に記載しております。	1. 西部方面 赤井、御領、新田旭町、新田北町、新田境町、新田中町、新田西町、新田東本町、新田本町、太子田、南郷町、氷野、諸福 2. 中部方面 曙町、泉町、栄和町、扇町、大野、川中新町、御供田、幸町、三箇、三洋町、新町、末広町、住道、大東町、灰塚、浜町、朋来、三住町 3. 東部方面 明美の里町、大字龍間、大字寺川、大字中垣内、大字野崎、大字北條、学園町、北楠の里町、北新町、谷川、津の辺町、寺川、中楠の里町、中垣内、錦町、西楠の里町、野崎、平野屋、平野屋新町、深野、深野北、深野南町、北条、緑が丘、南楠の里町、南津の辺町、南新田	